

ステージアップ

# Stage Up

## 主な記事

- ・明るく、楽しく、社会の一員として「ピカソ・カレヅジ新百合」
- ・何歳からでも挑戦できる「ワイダンスカンパニー エンターテインメントスタジオ」
- ・特集 ふれあいサマーキャンプ

## 詳細・他

- ◆ 施設めぐり
  - ・川崎市夢見ヶ崎動物公園  
日常の延長に動物と自然が
  - ・川崎能楽堂  
想像する楽しさが広がる能楽堂
- ◆ 財団からのお知らせ
  - ・楽しい！キッズセミナー
  - ・子ども陶芸教室 ほか



「Colors かわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品の魅力をダイレクトに感じてもらうことを目指す展覧会です。

障がいのあるなしに関わらず親しめる芸術文化活動の環境づくりに向けた「パラアート推進事業」の一環として、(公財)川崎市文化財団が年1回開催しています。

## Colors かわさき 展より ⑰

カ イ  
K A I 「花模様アート」 コピックペン、油性ペン

ゼンタングルアートを得意とする作者が出張指導のもと描いた花々の作品。緻密な模様と色鮮やかな花が調和し、独自の世界観と生命力あふれる表現が広がります。(ピカソ・カレヅジ新百合 スタッフ後藤)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpai.or.jp E-mail: stage-up@kpai.or.jp



新百合ヶ丘オーパでのイベント

## 明るく、楽しく、社会の一員として 「ピカソ・カレッジ新百合」



運動会では力を合わせて頑張りました!

玄関を開けると、笑顔と声が自然に行き交っている「ピカソ・カレッジ新百合」。株式会社アイムが運営する、高校卒業後の障害がある人たちが利用する生活介護事業所です。20代の利用者が多く、活気にあふれています。麻生区に2つの拠点があり、古沢ではアート制作が中心、金程では調理など別の活動が行われています。利用するのは同じメンバーで、毎週水曜日に拠点を入れ替えて活動します。運動会やクリスマス会、遠足などのイベントは、両方の拠点が「新百合」として集まって合同で行っています。

### 自由活動と作業がつくるリズム ポイント制の工賃が働く実感に

一日の流れは朝10時から夕方4時まで。朝の会ではラジオ体操やダンス、係を決めて、その後はそれぞれの活動へ。お話ししたり、ゲームしたり、買い物、アート制作など、自由に活動内容を選びます。

金程の拠点では毎日のランチを作り、食缶で古沢へ運びます。スタッフの方は、「こちらが言わなくても猫の手をするようになったとき、薄切りができるようになったときに成長を感じます。『おいしいね。ありがとう』という掛け合いができるのがとても楽しく、働く原動力になっています」と笑顔で話してくださいました。“できた”が、みんなの表情をふわっとほどいていく、そんな場面が目に見え喜びました。

特徴的なのが「作業をすると工賃が支払われる」仕組み。ランチづくりやブログ執筆、封筒のハンコ押しなど、15分ほどで交代しながら取り組みます。工賃はポイント制で、Tシャツ製作なら、印刷したシートをラミネート加工して1ポイント、畳んで袋詰めは5ポイントという具合に工程ごとに決まっています。皆さんは月に一度の工賃の支給日を楽しみにしていて、「仕事ないですか？」と聞いてくる利用者さんもいるのだとか。働いた分が形になる経験を丁寧に積み上げ、次のやる気につながっているようです。



作業も楽しんで行います♪

### 作品が街に出る、 街の声が戻ってくる

ピカソの大きな特徴は、外部展示の多さです。年に一度麻生市民館ギャラリーで展示を行うほか、新百合ヶ丘オーパでの展示は季節ごとに行われ、搬入・搬出の作業に参加して工賃が出ることも。展示を見に行き、写真を撮ることも活動の一部です。プロダクト・ディレクターの後藤さんは、「最近イベントでも『いつも見ているわよ』と声をかけていただけるようになりました。『頑張ってるね』と言われるので励みになります」と話します。誰かが立ち止まって自分たちの作品を見てくれている、そのことが次の作品を生む力になるように感じました。



### 賞は本人だけでなく 現場みんなの誇り

実は、今号の表紙作品の作者である KAI さんもピカソ・カレッジ新百合を利用しています。取材の中でも特に熱がこもったのが、「第2回かながわともいきアート展」での受賞のお話でした。ピカソからは入選者が複数出て、神奈川県知事賞や、ともいき賞を受賞した方も。「賞を取るのって、こんな気持ちなんですけどね(笑)」という後藤さんの言葉から、喜びと驚き、そしてスタッフの苦労もにじみます。この受賞が、本人だけでなく、周囲の大人や仲間の誇りにもなっていることが伝わってきました。



「神奈川県知事賞」の TOMOさんと「ともいき賞」の大園さんを囲んで

### 「楽しく」が軸、青春を謳歌

「ピカソ・カレッジ新百合」は、利用する皆さんが「行きたい」と思える楽しい場所であることを第一に、地域の皆さんに知ってもらいながら認めてもらって、見守られながら応援してもらえて、社会の一員としてかわりを持って生きていくことを大切にしています。もし新百合ヶ丘オーパのギャラリーなどで展示を見かけたら、ぜひ立ち止まってみてください。そのひと時が、彼らの次の挑戦につながっていきます。

#### ■ ピカソ・カレッジ新百合 (古沢・金程)

川崎市麻生区古沢 255-5  
電話 044-328-9240  
川崎市麻生区金程 2-15-2  
電話 044-322-8963



Instagram



就労支援ピカソ・カレッジのblog

何歳からでも挑戦できる  
「ワイダンスカンパニー  
エンターテイメントスタジオ」



2025年7月 ワイダンスカンパニー18thパフォーマンス

宮前区にあるワイダンスカンパニーエンターテイメントスタジオは、2歳の幼児からシニア世代までが通うダンススタジオです。バレエ、ジャズダンス、コンテンポラリーダンスなどのダンスを軸に、歌や芝居、ピアノ、英語までを一つの場所で学ぶことができます。平成19(2007)年のオープン当初から現在まで、先駆的な存在として歩み続けています。スタジオを率いるバレエ講師の針山祐美さんにお話を伺いました。

一流を、一か所で

針山さんは、バレエを基礎に、ミュージカルの世界へ進み、さらなる研鑽のためニューヨークへ渡りました。そこで出会ったのが、バレエもジャズもコンテンポラリーも、すべてを高いレベルで学べるスタジオです。「日本では、バレエはバレエ教室、ジャズはジャズダンス教室と、それぞれ別の教室でレッスンに参加する。それでは時間も費用もかかりすぎてしまう。全部できたらいいのに」と考えた針山さんは、帰国後、ジャズダンス界の第一人者である吉元和彦さんとともにこのスタジオを立ち上げました。「エッセンスを体験するだけでなく、本気で学びたい人が世界を目指す場所にしたいんです」という当時の思いは、今もスタジオの根幹にあります。

舞台は“特別”ではなく、学びの一部

ワイダンスでは、年に一度の大きな舞台公演「パフォーマンス」に加え、自分のやりたいことができるダンスフェスティバルやミュージックフェスティバルなど、舞台に立つ機会が数多く設けられています。針山さんは、「一回の舞台から学べることは、100回のレッスン以上のものがありますし、舞台に出て行って、やり切って、また戻ってくる。それだけでも、大きな成長が得られます」と、目を輝かせながら話してくださいました。



生徒たちの「やりたい!」をかなえるダンスフェスティバル、ミュージックフェスティバルでは、一人で踊る、歌う、演奏する経験ができます。

プロにならなくても、残るものがある

国際コンクールでの受賞、海外公演、そして劇団四季をはじめとする舞台やミュージカルへの合格者を輩出するなど、華やかな実績もこのスタジオの誇り。卒業生が出演している作品を見に行ったり、海外で活躍する卒業生の話を聞いたりする時間は、スタジオの皆さんが頑張る原動力にもなっているようです。

けれど針山さんは、「全員がプロになる必要はないんです。本気で取り組んだ経験は必ず別の形で残ります。姿勢、集中力、自分を表現する力、ダンスでなくても、その人の人生につながっていくものがあると思っています」と話します。実際に、ダンスとは異なる分野で活躍している卒業生は多く、その姿を見るのも針山さんの喜びの一つ。「また踊りたくなった」と、大人になってレッスンに戻ってくる人もいます。



「夢をかなえる場所」でありたい

ワイダンスでは、幼児も、学生も、大人も、プロを目指す若者も、同じスタジオで、それぞれのレベルに合わせてレッスンを受けています。基礎クラスから始め、少しずつ上のクラスに挑戦するシニア世代の姿も、今では珍しくないそうです。

「今は便利な時代で、体を動かさなくても何でもできてしまいますが、人はやはり体を使ってこそ。ダンスなら、楽しみながら成長を感じられます。何歳だから無理、という考えはありません。思ったことは、やってみてほしいのです。ワイダンスカンパニーは、年齢も、経験も関係なく、“やってみよう”と思ったことを実現できる場所でありたいです」と針山さん。

舞台の上だけでなく、日常の中でも一歩を踏み出す勇気をくれる「ワイダンスカンパニーエンターテイメントスタジオ」は、今日もそれぞれの夢への入口であり続けています。新年度が始まりました。皆さんも、やってみようことに挑戦してみませんか？



■ ワイダンスカンパニーエンターテイメントスタジオ  
川崎市宮前区土橋1-10-14  
電話 044-767-8880  
メールアドレス  
studio@y-dance.com



ホームページ

特集

素敵な出会いとふれあいがいっぱい  
ふれあいサマーキャンプ

ふれあいサマーキャンプとは？

夏休み期間中、川崎市内在住・在学の小学校5年生から中学校2年生が、市の代表として友好市や町を訪れる宿泊行事です。自然や文化、地域の人々との交流を通して、個人旅行では得がたい体験ができます。平成2(1990)年に岩手県東和町(現花巻市)から始まり、36年の歴史を重ねてきました。訪問先の自治体や地域団体の全面協力による、地元の子どもや地域の方々との交流も魅力です。今回は、昨年実施した各コースの様々なふれあい体験についてご紹介します。

和歌山県 古座川町コース

古座川町の小学5・6年生との交流

古座川町の小学5・6年生は町全体で26名。交流会には5年生11名、6年生8名の計19名が参加しました。町民会館での対面式では、緊張しながらも一人ひとりが自己紹介を行いました。

最初の活動は川遊びと『うなぎ石漁』体験です。混成グループで協力して石をどかして、天然うなぎを探しました。見事に捕まえた班もありました。その後は泳いだり生き物を探したりと、川遊びを満喫。次第に会話も増え、打ち解けた様子が見られました。

古座川の景勝『一枚岩』見学後は宿泊先で夕食交流会を行い、協力して作ったカレーと一緒に味わいました。手持ち花火も楽しみ、「また明日ね」と声を掛け合う姿が印象的でした。

3日目は木材を使った工作などに挑戦して、教え合いながら作品を完成。別れの場面では、名残惜しそうに握手やハイタッチを交わしていました。

古座川町の地域の方々との交流

川遊びでは教育委員会職員や教職員約10名が見守り、『うなぎ石漁』では漁の方法や川遊びの楽しみ方を丁寧に教えてくださいました。

工作では北海道大学和歌山研究林の方々が講師となって、こすり染めやフォトフレームづくりを指導。研究林ならではの生き物観察も行われ、参加者にとって心に残る体験となりました。

川崎市でお出迎え

8月下旬に古座川町の6年生8名が川崎市を訪問。サマーキャンプ参加者と再会して、夕食・キャンドルファイヤーで交流を行いました。笑顔あふれる時間を過ごし、再会を喜びあっていました。

最終日は宮前区にある向丘小学校を訪問して、6年生が企画した交流会に参加しました。温かい歓迎の中、クラスごとのレクリエーションを通して緊張もほぐれ、笑顔で交流を深めました。

今回のサマーキャンプで、とても貴重な体験をしました。友達もたくさんで、古座川町の小学生とも仲良くなれました。

小6 Hさん

水田には様々な生き物が共生していた。とても充実していて楽しかった。しかしそれは大学の方達が準備してくれて出来たのだ。

中1 Hさん

令和8年度も  
4コースで  
実施します♪



島根県 益田市コース

益田市小学生との交流

地元の小学校2校の小学生と、2日目に交流を行いました。匹見川ではアユのつかみ取りや川遊びを体験し、捕まえた生き物を水族館関係者の解説で観察しました。午後は木工でコースターを制作した後、話し合っただけのドッジボールを体育館で実施。一緒に体を動かすうちにうち分け、「みんなで遊ぶと楽しい」と笑顔が広がりました。



アユつかみ取り



石見神楽体験



食事づくり



ドッジボール交流

益田市の地域の方々との交流

歓迎会では市長が出迎え、送別会では教育長が見送りをしてくださいました。宿泊先では、地域の方々の協力のもと、ピザづくりやバーベキューを体験。地元産のお米も提供され、朝は地域のラジオ体操にも参加しました。

地元社中による『石見神楽』を貸切で鑑賞し、実際の衣装を着る体験もさせていただきました。ぶどう園ではオーナーから直接説明を受けるなど、地域との温かな交流が印象に残る時間となりました。

石見神楽の衣装はとても重く視界も悪い物でした。あれを着て本物の動きを再現している職人さんは普段からとても練習していると思ったので、地元の伝統文化を守るという熱い思いや決意がとても伝わってきました。

中2 Oさん

水がにごっていて、アユの位置が見づらくて、つかまえるのに苦労しました。次に挑戦した島根の子たちをアユ取りが終わった人たちでアユの位置を知らせてもらって応援しました。

小5 Kさん

岩手県 花巻市コース

花巻市の地域の方々との交流

地域の方々の協力により多彩な体験活動が行われています。中心となって支えてくださっているのが、花巻市東和町まちおら交流推進協議会の皆さんです。野菜収穫体験では畑での収穫だけでなく、出荷や選別作業も見学しました。収穫した野菜を使ったピザづくりやおやつ作り、昔遊びの工作なども、地域の方に教わりながら楽しく体験。人とのふれあいを通して、心に残る思い出が生まれました。



田沢湖ボート体験



おやつ作り



さきおり体験

長野県 富士見町コース

富士見町小中学生との交流

地域の小中学生で構成されている「まるかじり探検隊」と交流しました。今回は小学4～6年生11名が参加し、対面式とミニゲームで交流がスタート。最初は緊張していた子どもたちも、次第に笑顔を見せるようになりました。混成グループでのバーベキューや星空観察を通して距離が縮まり、翌日の合同ハイキングでは励まし合いながらゴールへ。解散式では名残惜しそうな姿が見られ、思い出深い交流となりました。



ミニゲーム大会



バーベキュー



鼻戸屋ハイキング



解散式



うなぎ石漁



葉っぱのこすり染め



生き物観察



古座川町解散式



向丘小クラスレク

和歌山県古座川町(2泊3日) 7月22日(水)～24日(金)  
参加費 小学生 56,000円 中学生 56,700円

島根県益田市(2泊3日) 7月27日(月)～29日(水)  
参加費 小学生 52,100円 中学生 52,600円

岩手県花巻市(2泊3日) 7月29日(水)～31日(金)  
参加費 小学生 59,100円 中学生 72,200円

長野県富士見町(2泊3日) 8月5日(水)～7日(金)  
参加費 小学生 25,400円 中学生 26,000円

参加費は、本人分の交通費、宿泊費、活動費などの実費のみです。募集時に変更になる場合もあります。

申込期間 令和8年5月11日(月)～27日(水)

ホームページから申し込みます。定員を超えた場合は抽選で参加者が決まります。5月に学校からふれあいサマーキャンプの案内を掲載した「川崎こどもニュース」が配付されます。こどもニュースや川崎市生涯学習財団のホームページを見て申し込んでください。

公益財団法人川崎市生涯学習財団

事業推進室 サマーキャンプ担当

電話 044-733-5572

(平日 8時30分～16時30分)

ホームページ



幸区

# 川崎市夢見ヶ崎動物公園

JR 横須賀線・湘南新宿ライン「新川崎駅」より徒歩約 15 分  
JR 南武線「鹿島田駅」より徒歩約 20 分  
川崎市チャンネル(YouTube)夢見ヶ崎動物公園への行き方→



人気者！レッサーパンダ



桜とヤギのタンゴ

## 日常の延長に動物と自然が

加瀬山(かせやま)という小高い丘の自然に包まれた場所にある夢見ヶ崎動物公園は、「動物園」というよりも、「動物のいる公園」という言葉がしっくりくる施設です。園内では、約50種類・270頭ほどの動物たちが飼育されており、入園料は無料。365日開園しているため、思い立ったときに立ち寄れるのも大きな魅力です。

この公園の特徴は、特別な目的をもって訪れる場所というより、日常生活の延長線上にあること。朝はラジオ体操やウォーキング、犬の散歩を楽しむ人の姿があり、日中はベビーカーを押した親子や、保育園の子どもたちが「お散歩」で訪れます。

山の上にありながら、園内は比較的平坦でコンパクト。30~40分ほどでひと通り回ることができるので、小さなお子さん連れでも無理なく楽しめます。迷子になりにくく、子ども自身が「次はあっち」と歩いていける安心感もあります。

春は桜、初夏はアジサイ、夏は木陰の涼しさ、秋は紅葉、冬は澄んだ空気。動物たちの姿とともに、四季折々の自然を感じられるのも夢見ヶ崎ならではの魅力です。

園内では、ひとりで静かに過ごす人の姿も、家族で会話をを楽しむ風景も自然に混ざり合っています。まなざしや会話のあいだに動物がいて、その存在が空気をやわらかくしているようです。穏やかな気持ちで過ごせるからこそ、帰り道には少し肩の力が抜けている。夢見ヶ崎動物公園は、そんな時間をそっと用意してくれる場所のように感じられます。



新川崎駅そばの跨線橋上には「ゆめみらい交流会」の皆さんによる夢見ヶ崎動物公園に関するイラストや写真がたくさん！わくわく感を盛り上げます。



## のんびりした姿に、思わず笑顔♪ ロバのバロンちゃん

近ごろ園内で注目を集めているのが、ロバのバロンちゃんです。令和7年度に仲間入りしたばかりで、やさしい表情と穏やかな雰囲気印象的です。

バロンちゃんは、時間や体調に余裕があるとき、飼育員さんと一緒に園路をお散歩することがあります。このお散歩は、運動や気分転換、環境に慣れるための大切な時間でもあるそうです。もし出会えたら、それはちょっとした幸運かもしれません。



気品が漂ういでたちと、甘えん坊でやんちゃな性格が魅力的です。



## トンネルみたい！ カイツカイブキと豊かな自然

夢見ヶ崎動物公園を訪れたら、ぜひ歩いてみたいのが、カイツカイブキの並ぶ小道です。枝葉が重なり、まるで緑のトンネルのように見えますね。夏は木陰が涼しく、歩いているだけでほっと一息。季節によって光の入り方や空気感が変わり、同じ道でも違った表情を見せてくれます。季節の草花や野鳥の声、散策の楽しみが広がります。



## 見るだけで終わらない「命を感じる」時間

夢見ヶ崎動物公園では、「いのちを感じる」というテーマが、園の大切な軸になっています。動物を見て「かわいいね」で終わるのではなく、その先にある、いのちの重みやつながりにそっと目を向けてもらえたら——そんな思いが込められています。動物の成長の様子を伝える写真や掲示にも注目してくださいね。



春先には、シカやマーコールなどの出産シーズンを迎えることがあり、運が良ければ誕生の瞬間に立ち会うことができるそうです。

### ■川崎市夢見ヶ崎動物公園

〒212-0055 幸区南加瀬 1-2-1  
電話 044-588-4030  
開園時間 9時~16時  
年中無休・入場無料



公式 X

川崎市 HP



夢見ヶ崎動物公園  
の魅力発信映像



## 川崎能楽堂

JR「川崎駅」東口より徒歩約5分



### 能も狂言も、思っていた以上に身近 想像する楽しさが広がる能楽堂

川崎駅周辺のにぎわいから少し歩いた場所に「川崎能楽堂」があります。昭和61(1986)年に開館し、今年で40年を迎えるこの建物は、市民に開かれた能楽の場として歩んできました。主催公演のほか、貸館としても利用されています。

客席は148席と、能楽堂としてはコンパクトなつくりで、舞台と客席の間に白洲(しらす)がなく、見所(けんしょ)と舞台がとても近いのが大きな特徴です。後ろの席からでも、演者の息づかいが感じられるほどの距離感であり、「こんなに近くで見られるとは思わなかった」という声も多く聞かれます。演じる側にとっても、この距離感は特別なようで、舞台に立つ緊張感がより高まることもあるそうです。すぐ目の前で繰り広げられる世界を感じられることで、物語の世界に自然と引き込まれていく。それは、「鑑賞する」というより「同じ空間で体験する」感覚に近いのではないかと思います。

この能楽堂の能舞台には屋根がありません。限られた敷地条件の中で、あえて屋根を設けず、「市民ホール」としても使えるように設計されました。能や狂言だけでなく、さまざまな表現の場として利用されています。能舞台という特別な空間でありながら、どこか身近で、気軽に足を運べる雰囲気があるのも川崎能楽堂ならではの言えるかもしれません。

能楽は舞台装置がない分、自分の想像で肉付けをして、自分の中でその物語が進んでいくところに独自の魅力がある芸能。川崎能楽堂には、能や狂言を入りに、想像力を広げ、自分なりの楽しみ方を見つけられる「余白」の時間が用意されているように感じられます。皆さんも、まずは一度、足を運んでみませんか。



### 最初の一歩をやさしく後押し

「能や狂言は難しそう」、そんな不安をやわらげるための工夫の一つが、「川崎市定期能」で行われている事前講座です。上演前に、出演する能楽師本人が演目のあらすじや見どころを解説し、ときには体験コーナーが設けられることも。少し予習をしてから舞台を見ることで、感じ方が変わると話す方も多いようです。

また、狂言のみの公演や、分かりやすい解説付きの企画もあり、笑いや親しみやすさを通して伝統芸能に触れられる機会も用意されています。



能「二人静」(撮影:前島吉裕)



### 体験してみると、能はぐっと近くなる

毎年夏に開催される「夏休み能楽体験・鑑賞教室」は、子どもから大人まで参加でき、毎回定員を超える応募があるそうです。謡(うたい)や仕舞(しまい)、笛、小鼓(こつづみ)といった能を形づくる要素から一つを選ぶのではなく、すべてを体験するのが特徴です。

成人向けの能楽教室(謡曲・仕舞・笛・小鼓)も通年で開講しています。講師の能楽師の先生方は、初めての人にも分かりやすく導いてくれます。



夏休み能楽体験・鑑賞教室(仕舞)



謡のお稽古

お稽古の場としての能舞台に上られるのも、この能楽堂ならではの。



### あなたなりの使い方が見つかる場所

貸館としての利用は、能や狂言のお稽古や発表会だけでなく、日本舞踊、邦楽、演劇、音楽公演など多岐にわたります。館内には和室もあり、和室のみの利用ができる日もあります。

舞台装置を大きく組むことができない分、想像力を生かした表現が求められるのも、この空間ならではの特徴です。自分の表現や物語が際立つ、そんな使われ方ができる貴重な施設です。



「こういう使い方はできるかな」そう思ったら、まずは相談してみましょう!

#### ■川崎能楽堂

〒210-0024 川崎区日進町 1-37

電話 044-222-7995

休館日 水曜日、年末年始



管理運営団体  
公益財団法人川崎市文化財団  
ホームページ

R8 夏休み特別講座「楽しい！ キッズセミナー」

夏休みだよ！ 体験学習！！



**日時** 令和8年7月21日(火)～24日(金)

午前の講座 10時～12時

午後の講座 13時～15時

**会場** 川崎市生涯学習プラザ

中原区今井南町 法政二中学・高校近く

川崎市高津市民館

高津区溝口 ノクティプラザ2 11階

**講師** 認定 NPO 法人教育活動総合サポートセンター

に登録された経験豊富な先生方他

**対象** 小学3年生～6年生

「楽しい！キッズセミナー」って  
どんなことをするの？

- ✓ これまでに学校の学習や活動で培った力をベースに、個々の興味や関心を広げたり、深めたりする内容を行います。
- ✓ 身体を動かしたり、ものに触れたりする体験的な活動を通して、心や思考力を養う機会にします。
- ✓ 夏休みでなければ体験できない内容を準備しています。

■ (公財)川崎市生涯学習財団  
事業推進室 キッズセミナー担当  
電話 044-733-6626  
(平日8時30分～16時30分)



ホームページ

令和8年度

子ども陶芸教室



**日時** 令和8年7月5日(日)・8月2日(日)

9時30分～12時

**会場** 川崎市生涯学習プラザ 地下1階実習室

**対象** 小学5年生～中学2年生

**内容** 1kg(ご飯茶碗2個分程度)の粘土を使い、当プラザ陶芸教室の受講生ボランティアの指導の下、自分だけのオリジナルのマグカップづくりに挑戦します。マグカップの他に、小皿や箸置きなどを作ることできます。

7月5日に粘土をこねて形を作る「形成作業」、その後、その作品を乾燥期間に素焼きし、8月2日に絵を付けて釉薬(うわぐすり)をかける「施釉作業」を行います。施釉作業は当プラザ陶芸教室ならではの工程で、通常の陶芸教室ではなかなか体験できない貴重なものです。

毎年、参加者の皆さんは、様々な工夫を凝らして、思い思いの作品作りを楽しんでいます。

■ (公財)川崎市生涯学習財団  
事業推進室 陶芸担当  
電話 044-733-5893  
(平日8時30分～16時30分)



ホームページ

◆お楽しみコーナー

Stage Up 257号クイズに答えよう!

夢見ヶ崎動物公園に  
昨年度仲間入りしたばかりの  
ロバの名前は？

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『○○○ちゃん』※ヒントp.6

【応募方法】



左記の二次元コードから解答フォームへアクセス、または、①答え ②〒・住所 ③氏名 ④本誌の入手場所 ⑤今号で良かった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで応募してください。

※締切 2026年5月11日(月) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈  
(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆256号のクイズの答え・・・おにっく